

高級車を刺激的に変えてゆく大人のドレスアップマガジン

平成9年3月4日第三種郵便物認可
2014年11月26日発行
(毎月1回26日発行・毎月26日発売)

VIPCAR

ビップカー Since1995

11

2014 Vol.224

定価 **650yen**

R40

注目のアラフォーオーナー紹介
「愛知の元祖ワイド&ロー」
G50 INFINITI Q45

なにしろ 車高調好きなら もので。

厳選オーナーカー×実力派レポーター
乗り味インプレッション5例

今後の車高調選びに役立つ
オーナー達の愛用車高調レビュー

カットモデルでよくわかる
車高調の仕組みと構造

SESSIONS 山田賢司
RS★R車高調対談

Girl's VIP

「北の大地の美しきオーロラブルーボディ」40SOARER
「男勝りのスーパーシャコタンガール」Y33 INFINITI Q45

THE NEW MODELism. 現行型主義。

130MARK X / 210CROWN / Y51FUGA



STANCENATION 2

車種別リポート *Japan G Edition* 祭 2nd

【同時収録】 出展ブース紹介 / キャンパー選手権 /
車高短ギリギリアンケート feat. ギリギリガール

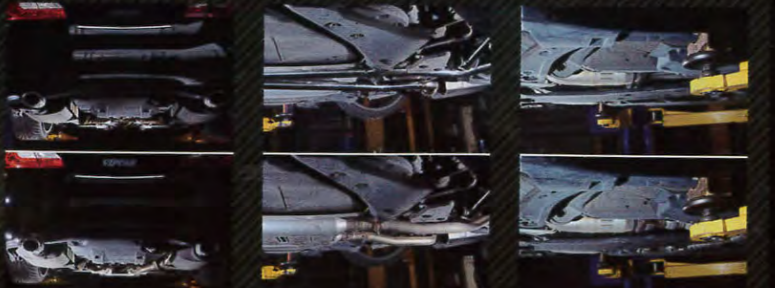


フロント&センターパイプが同時発売
完璧なフィッティングと底上げを実現

Sense Brand Y51 FUGA Stealth KIT

センスブランド Y51 7用ステンレスキット

ノーマルとの完全比較で底上げ具合をチェック!!



↑リアから水平に見た比較でも、写真上のステンレスキットはしっかりとステンレス化している。写真下のノーマルだと、かなり下側に出っ張った状態となっている。車高短仕様では致命的といえる。

↑センターパイプ部分のノーマルとの比較。写真上のステンレスキットは、ストレートバージョンのためより底上げ感がある。写真下のノーマルだと、車高短では心配になりそうなく出っ張り具合だ。

↑フロントパイプ部分のノーマルとの比較。写真上のステンレスキットは、パイプが見えない状態。写真下がノーマルで、アンダーカバーのスキ間から少しはみ出ているのがわかる。

Price List (すべて税別価格)

■適合車	Y51 7用 2.5L, 3.7L	
ステンスフロントパイプ		¥54,000
ステンスセンターパイプスーパーサウンドVer.		¥68,000
ステンスセンターパイプストレートVer.		¥54,000
Y51 7用リアピースマブラー		¥58,000~



左の写真は、ノーマルシステム。下側から見ても、車体のフロア部分からマフラーが一段落ちた状態がわかる。大きな写真がステンレスキットを装着した例で、フロアの内側にしっかり取まっている。



↑「ステンレスキット」は、純正交換タイプなので、フロントパイプも、触媒を残した状態でホルトオンで装着可能。



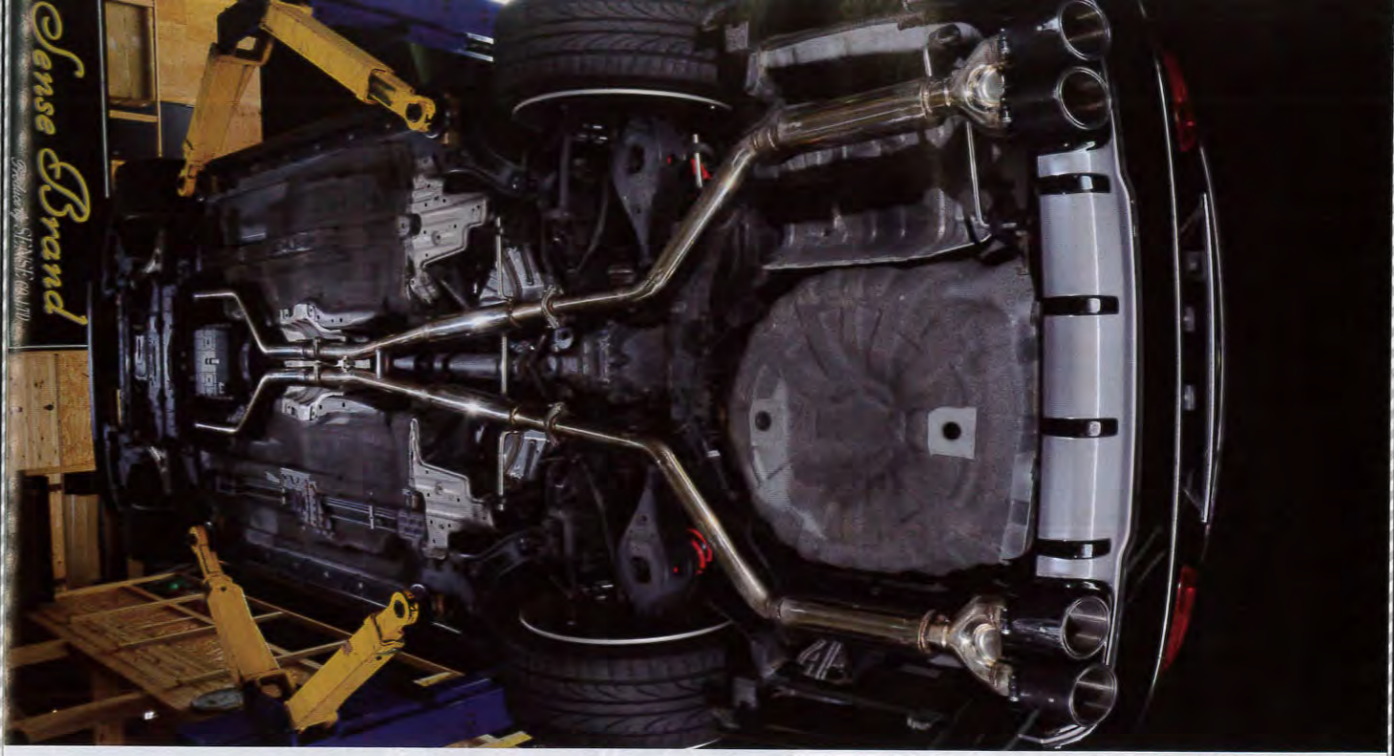
↑センターパイプは、膨張管を装備したスーパーサウンドバージョンも用意する。

エキゾースト系の攻略で 02 知っておきたいこと

車高短仕様の底上げにも完全対応

車 高短仕様の場合、路面にヒットして腹スリやマフラーパイプの変形など、さまざまな問題が起きてくる。そんなネガティブな状況を解消してくれるのがセンスブランドの「ステンレスキット」。ステンレスとは、その名の通りマフラーを車体側に隠してしまふアイテム。製品はフロントパイプとセンターパイプで、セットも用意されている。愛車の状況に応じて選べることもうれしい。ちなみに、特殊加工などで最大底上げ値は3.5cmを実現してくれるので、マフラーをキス付けることなく低車高でも

安心なのだ。また、ステンレスキットのスコイところは、車種専用設計がなされており、純正合わせてホルトオン交換できる。そして中間パイプには、サイレンサー付きも用意されている。重低音を望むユーザーに最適な仕様だ(撮影車はストレートタイプ)。なお、リアピースにはセンスブランドから発売されているY51 7用をこのステンレスキットとコンビネーションすることも、さらに特別感を演出できる。目的に合わせて選択できるラインアップが充実していることもうれしい。



Sense Brand F50CIMA High Power Boost Full Dual Spec Platinum Sound System

センスブランドF50シマ用ハイパワーブースト フルデュアルスペックプラチナムサウンドシステム



センスブランドが誇る技術を結集した究極のマフラーシステム「ハイパワーブーストフルデュアルスペックプラチナムサウンドシステム」。それぞれ専用のフロントパイプ、センターパイプ、リアピースの3体で構成される。装着例はパイプ径や同調の位置も変更したワンオフ仕様となっているが、製品版もこれまで通り、排気効率や重低音サウンドも完璧に再現する!!

底上げ対策も万全なのだ!!



この一連の写真は、触媒の付近、フロントパイプ、センターパイプ、リアピースをそれぞれノーマルと比較したもの。上側は車体の内側に取まっているが、下側のノーマルだとかなり飛び出した状態となっていることがわかる。

Price List (すべて税別価格)

■適合車	F50 2.4 5L	フロントパイプ&センターパイプ前・中・後期、専用リアピースマブラー前・中期	¥80,000
プラチナムサウンドフロントパイプ			¥80,000
プラチナムサウンドセンターパイプ			¥80,000
左右出し専用リアピースサイレンサー付シングル			¥114,000~148,000
左右出し専用リアピースサイレンサー付デュアル			¥114,000~152,000
左右出し専用リアピースストレートシングル			¥62,000~106,000
左右出し専用リアピースストレートデュアル			¥72,000~110,000

エキゾースト系の攻略で 01 知っておきたいこと

いい音を奏でるマフラーの条件

セ ンスブランドが誇る先進のエキゾーストテクノロジーを結集した究極のシステム「ハイパワーブーストフルデュアルスペックプラチナムサウンドシステム」は、重低音サウンドとパワーアップ、さらにエンジンレスポンスも向上させる究極のシステム。もちろん低車高化に伴う底上げ対策も同時に実現する高い機能性も併せ持つ。これまでセタン用の対応車種を増やしてきたが、F50シマ用がリリースされた。そもそもF50シマは、ノーマルだとマフラーエンドは片側出しの設定。この製品は、左右出しを実現。もちろん、排気干渉を抑えるパイプの取り回しや膨張管の設定などで、

確実にパワーアップも実現する。そして重要なのは、サウンド面の劇的な変化。システムは独自開発したセンター部分のH型同調とトルネードバンチング内臓のサイレンサーにより、エンジンの点火タイミングごとに圧倒的な重低音を奏でるのだ。また音質だけでなく、音量もしっかり調整できるので、注文時にセンスブランドのスタッフと相談することで、ストレート化するなど理想的なサウンドチューニングがかなうのだ。なお、リアピースは専用の左右出し仕様が必要となるが、愛車のリアビューを高級感とスポーティーさを両立した設定にしてくれること間違いなしのアイテムだ。

左右出しスタイルを実現! いい音&底上げに完全対応



↑マフラーのシステムが車体に隠れた状態になっている。これは完璧な底上げが行われている証し! 低車高でも腹スリしない。

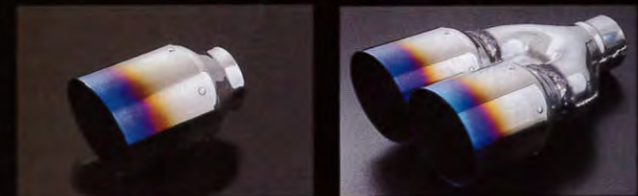


↑取材車両にはエンド部分にドライカーボン使用の「ケヴァルト」を装着して、スポーティーさを演出。

『重低音』ならチャンバー内臓の砲弾型サイレンサー



↑砲弾タイプのマフラーは、チャンバー内臓の砲弾型サイレンサーを採用している。写真はデュアルタイプの100φバージョン。



↑シングルタイプのマフラーは、チャンバー内臓の砲弾型サイレンサーを採用している。写真はデュアルタイプの100φバージョン。

Sense Brand Muffler Cutter [Renizer]

センスブランド マフラーカッター「レニザー」

Price List (すべて税別価格)	
適合車 汎用品	
100φシングル	¥18,000
100φデュアル	¥28,000
100φ平型用サイレンサー付きシングル	¥44,000
100φ平型用サイレンサー付きデュアル	¥54,000
100φ丸型サイレンサー付きシングル	¥36,000
100φ丸型サイレンサー付きデュアル	¥64,000



↑チタンに熱を入れると付く焼き目がこの青赤い部分。この部分こそ純チタンであることを示すポイント。出口のハス切り部分のシャープさも、本物のチタンだからこそこのもの。

↑平型サイレンサーは、内部の容量が大きくなることにより低いサウンドながらもジェントルなイメージとなる。

↑写真は平型サイレンサー付きのシングルバージョン。サウンドは砲弾型とは異なり、いってみれば「重静音」と表現できる。低くても上品さを備えた音だ。

『重静音』なら大容量の平型サイレンサー

↑本体部分はステンレスとなっており、チタンとステンレスを合体しているのはリベット留めとなる。異素材をきちんとカップリングする技術もセンスブランドのクラフトマンシップの成せるワザなのだ。

※110～113ページの商品はすべてセンスブランドの製品。センスブランド TEL 0467-38-7432 <http://www.sensebrand.jp>

Text: 編集部 Photo: 渡部竜征 (ウイソフタタ)



↑砲弾タイプの丸型サイレンサーは、レーシーなイメージだけでなく、チャンバー室内で重低音を奏でる。サイレンサー自体も小型で、車種を選ばない設定。

マフラーカッターは、デザインと素材の違いによって異なる表情を見せられる。このモデルはセンスブランドの最新作で、純チタンを使用した「ウェローチエ」や「アラヴィス」に続く高級バージョン。本体のデザインはオーソドックスなハス切りタイプとしており、この奇をてらわれないデザイン

と全長をややショートな設定としたことが、「レニザー」の重要ポイント。これらにより、フルサイズ車から軽自動車まで、車種を選ばないフィット感とスポーツマフラーの装着感を同時に実現してくれるのだ。そしてエンド部分には純チタンを採用。いわゆるチタン焼きの青赤い独自の見た目を再現しており、レーシーなイメージを強烈に発信する。

人気のハス切りタイプ。デザインのチタンを贅沢に使った最高級品の

エキゾースト系の攻略で 04 知っておきたいこと

純チタンを採用した名品の主張



Sense Brand Muffler Cutter [Demarl]

センスブランド マフラーカッター「ディマール」



↑サイレンサー付きのバージョンも用意されており、サウンドチューニングも可能。写真のタイプは平型サイレンサー。これ以外に重低音を実現する砲弾型のチャンバー室内臓サイレンサーも用意されている。



↑アルミ素材の部分には、スリット加工が施されており、存在感が光る。このハイブリッド感は、ディマール最大の特徴だ。出口付近のステンレスはカーブ加工しており、美しい立体感も特徴。



↑アルミ素材とステンレス素材のドッキングは、しっかり径を合わせてフィッティング。内部は鏡面仕上げとしている。このていねいな仕事ぶりは、センスブランドならではのクオリティー。

Price List (すべて税別価格)	
適合車 汎用品	
90φ/100φシングル	¥18,000
90φ/100φ平型サイレンサー付きシングル	¥44,000
90φ/100φ丸型サイレンサー付きシングル	¥36,000
90φ/100φデュアル	¥28,000
90φ/100φ平型サイレンサー付きデュアル	¥54,000
90φ/100φ丸型サイレンサー付きデュアル	¥64,000

愛 車のテールエンドを華麗に演出してくれるセンスブランドのマフラーカッターに、またもや個性のデザインアイテムが加わった。エンド部分にスリット加工したアルミを使い、ステンレスの本体にドッキング。これまでにない、ロケットや火器のようなキャラクターを持つデザインとしている。

もちろん、アルミとステンレスは溶接ができないが、「ディマール」ではそんなことはまったく感じさせない、一体感を実現している。これは素材のことを知り尽くしたセンスブランドのクラフトマンシップの成せるワザ!!

基本デザインは、ハス切りタイプでサイズは90φと100φを用意。エンド部分に物足りなさを感じた時には、目新しいアルミ素材の採用は、高い存在感を示してくれるはずだ。さらに他にはないインナーも鏡面仕上げとしており、オリジナル性を追求するセンスブランドの本領発揮といえる。

エキゾースト系の攻略で 03 知っておきたいこと

ステンレスとアルミのハイブリッド

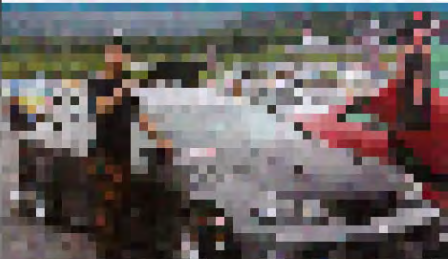
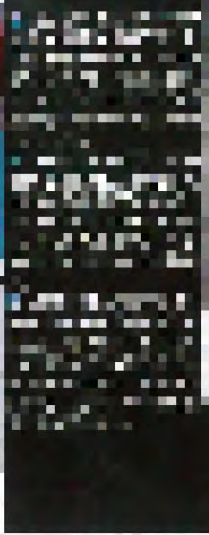
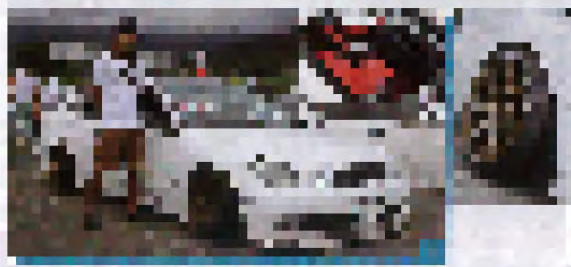
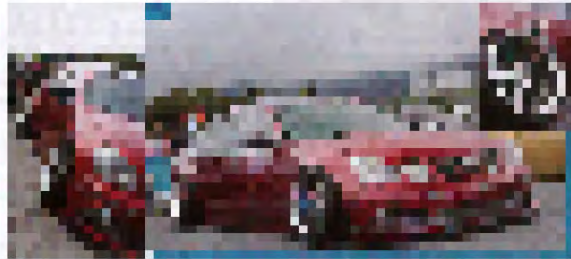
テールエンドの新たな個性 アルミを融合した立体仕様



↑デュアルタイプは、アルミ部分のコンビネーションが非常に存在感が高い。出口はハス切りタイプなので、スポーツマフラーに求められるカッコよさも◎



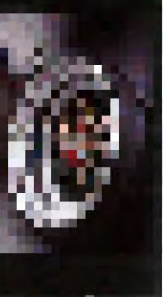
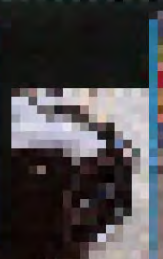
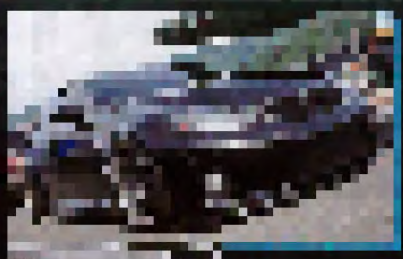
↑シングルでもエンド部分のアルミ素材がしっかり存在を主張。サイズは100φと90φを用意しており、どんなクルマにもマッチするように配慮されている。



「ムラサキ」の「ムラサキ」の「ムラサキ」

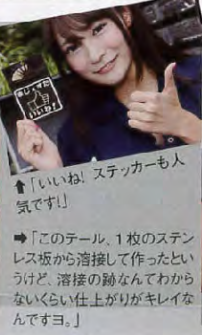
E20 15.4

「ムラサキ」の「ムラサキ」の「ムラサキ」
 「ムラサキ」の「ムラサキ」の「ムラサキ」
 「ムラサキ」の「ムラサキ」の「ムラサキ」
 「ムラサキ」の「ムラサキ」の「ムラサキ」



Sense Brand

<http://www.sensebrand.jp/>
 「今日の見たころは？」の質問に「全部」と答えてくれたセンスブランド代表の結城サンですが、中でもイチオシなのがこのマフラー。カタチとかマフラー音を好みにできるオーダーメイドも対応していて、例えば、ハート型や星乃の「星型」なんかも「楽勝」なんですって。テールエンドの文字は、なんと、ひらがなや漢字もOK。ちなみに、自分と彼女の名前を入れたらいいけど、1週間後に引れて「すみません…テールを換えて下さい」というケースがあったとか。笑っちゃいけないんだけど…、ゴメンナサイwww。」



「このテール、1枚のステンレス板から溶接して作ったというけど、溶接の跡なんてわからないくらい仕上がりがキレイなんですヨ。」